

令和8年度 入学者選抜試験問題

一般選抜 A日程

国 語 (50分)

I 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は24ページあります。ただし、出題ページは下記のとおりです。
4～19ページ
問題は第1問・第2問とありますが、一部**記述式**の問題が含まれています。それ以外は**マーク式**の問題です。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督員に知らせなさい。
- 4 解答用紙は**マーク式**と**記述式**の2種類があります。2種類配られていない場合は、手を挙げて監督員に知らせなさい。
- 5 解答用紙（マーク式・記述式）には解答欄以外に次の記入欄があるので、その説明と解答用紙の「記入上の注意」を読み、それぞれ正しく記入しなさい。
 - ① 受験番号欄
受験番号を記入し、マークシートには、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
 - ② 氏名欄
氏名・フリガナを記入しなさい。
- 6 試験開始後30分間および試験終了前5分間は退出できません。
- 7 この表紙の受験番号欄に受験番号を記入しなさい。この問題冊子は試験終了後回収します。

II 解答上の注意

- 1 「解答上の注意」が、裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。

受 験 番 号				
N				

獨協医科大学 看護学部

(問題は次ページから始まる)

第1問 次の文章は田中彰吾『生きられた〈私〉をもとめて——身体・意識・他者——』の一節である（ただし、出題の都合上、一部表記を変更・省略している）。これを読んで、後の問に答えなさい。

著作権の都合上、掲載を差し控えております

著作権の都合上、掲載を差し控えております

著作権の都合上、掲載を差し控えております

著作権の都合上、掲載を差し控えております

(注)

- 1 エスニシテイ……民族性。
- 2 パースペクティヴ……視点。視角。

問1 傍線部 a「ユルやか」、b「ソギ」、c「カラミ」と同じ漢字を含むものとして最も適切なものを、それぞれ次の①～④のうちから一つずつ選びなさい。

a 1・b 2・c 3

a ① カンダイな措置をとる ② カンシの目を光らせる

③ カンキユウを上手に使い分ける ④ 子どものやることにカンショウする

b ① 闘う前にサクリヤクを練る ② 事件現場をソウサクする

③ 山中で岩石をクツサクする ④ 試行サクゴを繰り返す

c ① ミヤクラクのない考え方 ② 試合の結果にラクタンする

③ 根っからのラクテン主義者 ④ 北国でラクノウに従事する

問2 空欄ア～ウに入れる語句として最も適切なものを、それぞれ次の①～⑥のうちから一つずつ選びなさい（ただし、同じ語句を二度以上用いてはならない）。ア 4・イ 5・ウ 6

① だから ② むしろ ③ さて

④ いわば ⑤ もちろん ⑥ というのも

問3 空欄A・Bに入れる語句として最も適切なものを、それぞれ次の①～⑥のうちから一つずつ選びなさい（ただし、同じ語句を二度以上用いてはならない）。A 7・B 8

① 「生きられたもの」としての自己 ② 誰とでも入れ替えられる自己 ③ 移ろいゆく者としての自己

④ 常にそうあるべきはずの自己 ⑤ 新たに生きていく自己 ⑥ そうであったかもしれない自己

問4 空欄Xに入れる語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

9

- ① 二律背反 ② 相互浸透 ③ 同床異夢 ④ 不即不離

問5 傍線部(1)「自己ではなく他者の視点から、意識なく眠っている人を見てそう述べている」とあるが、それは具体的にどのような

10

- ことか。その説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。
- ① 意識なく眠っている自己を、意識のある他者が見たときの状態から類推して述べている。
- ② 眠っている自分の意識が失われた状態で、自己と他者を区別できずに認識して述べている。
- ③ 自分が意識なく眠っている状態であることを忘れ、他者の意識に依存して述べている。
- ④ 自分に意識がないため、自分をあたかも意識のある他者のようにみなして述べている。

問6 傍線部(2)「境界線によって内と外に区別されない存在には、差異もなければ同一性もない」とあるが、それはどういうことか。

その説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

11

① 明確な自己アイデンティティを持ちたいとは考えていないため、主体は「私が私である」ということを確かめずに済んでいるということ。

② 私を「私」として区別し析出する「私でないもの」が存在しないため、「私が同じ私である」かどうか判断しようがないということ。

③ 身体が残り、意識が残っていたとしても、自己を孤独な宇宙と区別することができないため、主体は「私でないもの」とさ
れてしまうということ。

④ 身体や意識が先行しているために、明確な自己アイデンティティが成立せず、私は「私でないもの」との区別がつかなくなるということ。

問7 傍線部③「人々は、アイデンティティをめぐってしばしば『自分探し』や『自己形成』という言葉を使用する」とあるが、筆者

はこうした事態についてどう考えているか。その説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

12

① 自己は、生成しては消滅しているようにも見えるが、そこには物語的な一貫性が明らかに見出されるから、「自分探し」や「自己形成」という言葉を使用する必要はない。

② 性別やエスニシティや共同体や所有物などを事実的基盤として、生きられた自己は生成されていくのだから、「自分探し」や「自己形成」という言葉を使用する必要はない。

③ 身体と意識と他者が関係し合うなかで「生きられた私」のアイデンティティが成立しているのだから、「自分探し」や「自己形成」という言葉を使用する必要はない。

④ 準拠集団との関係や青年期の発達過程において問題になるものは真のアイデンティティとはいえないから、「自分探し」や「自己形成」という言葉を使用する必要はない。

問 8 本文の趣旨として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

13

① 身体、意識、他者の存在を前提とするなかで、アイデンティティははじめて生まれてくるのであり、そのどれかが欠ければ歪^{ゆが}んだものになる。

② 帰属集団やジェンダー、エスニシティから人々は離脱しにくいために、身体、意識、他者の有無にかかわらず、アイデンティティは保たれる。

③ もし「生きられた私」のアイデンティティを強靱なものにしていくとするなら、身体、意識、他者の価値をより明確に自覚していく必要がある。

④ 「生きられた私」のアイデンティティは生成と消滅を繰り返しているように見えるが、身体、意識、他者が存在するかぎり成立している。

第2問 次の文章は山極壽一^{やまぎわじゅいち}『共感革命 社交する人類の進化と未来』の一節である（ただし、出題の都合上、一部表記を変更・省略している）。これを読んで、後の問に答えなさい。

著作権の都合上、掲載を差し控えております

著作権の都合上、掲載を差し控えております

著作権の都合上、掲載を差し控えております

著作権の都合上、掲載を差し控えております

問1 傍線部 a「ケイカイ」、b「キョコウ」、c「ヒガイ」と同じ漢字を含むものとして最も適切なものを、それぞれ次の①～④

のうちから一つずつ選びなさい。

a 14

・ b 15

・ c 16

a ① 政府要人とのカイダンに臨む

② 家のカイチク工事を進める

③ 第三者がチュウカイに入る

④ ジカイの念に襲われる

b ① 作品のコウソウを練る

② 敵地をコウリヤクする

③ 態度がコウカする

④ 契約をコウシンする

c ① 当家でヒゾウしている掛け軸

② ヒマツ感染を避ける

③ ヒコクは無罪を主張した

④ 時間をロウヒする

問2 傍線部(1)「人間としての尊厳」とあるが、筆者は人間の「人間としての尊厳」はどのような点にあると考えているか。その説明

として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

17

① 言葉によって作られた様々な物語を文化として共有し、人工的な社会を築き上げた点。

② 簡単には言語化することができない、精神の奥底に潜む無意識に支配されている点。

③ 他者からのいかなる介入をも拒む、確固とした宗教的な世界観を持っている点。

④ 他の何ものからも侵されることのない、その人独自の感じ方・考え方を持っている点。

問3 傍線部(2)「人間は、徐々に考えなくなるだろう」とあるが、それはなぜか。句読点を含め五〇字以上六〇字以内で説明しなさい。

問4 傍線部(3)「とても危うい世界」とあるが、それはどのような世界か。その説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

18

- ① 情報に支配され、感情を持たない人間の機械化が加速化される世界。
- ② 他者との共感による結びつきが禁止された世界。
- ③ 人間の感情や感覚が画一化され、機械と変わらなくなる世界。
- ④ 感情や感性の部分と、知識や情報の部分との区別がつかなくなる世界。

問5 空欄Xに入れる語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 心
- ② 天秤 てんびん
- ③ 手塩
- ④ 篩 ふるい

問6 空欄Yに入れる語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① これまで人間がやったことのない中から選択するしかない
- ② これまで人間がやってきたことの中から選択するしかない
- ③ これからのことはけっして誰にもわからない
- ④ これから起きそうなことを想定し、その中から選択するしかない

19

20

問7 傍線部(4)「人間を殺すことこそ、合理的な判断となってしまう」とあるが、ここに示された「合理的な判断」について、筆者は

どのように考えているか。その説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

21

① 倫理的、道義的な価値判断を抜きにして、すべてを論理的に考えることで導かれた結論であるが、論理とはある一定の条件でのみ成立するものであり、それを普遍的なものとみなすことに一抹の危惧を感じている。

② いかにも人目を惹くことを目的とした、奇をてらった物言いであると最初は反発したものの、よく考えれば、このような「合理」性こそが、なにかと感情的になりがちな人々に必要な考え方であると考えている。

③ たしかに、論理的には辻褄が合っているとはいえるものの、このような考え方は、突き詰めていくと、結果的に人間を自滅に追い込みかねないものであり、けっして同意するわけにはいかないと考えている。

④ 一見すると、物事の根本に遡って考えられた優れた判断のありようを示しているといえるが、実際は、人間に災厄をもたらす悪魔的な判断としか言いようがなく、絶対に容認できないと考えている。

問 8 本文における筆者の主張として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

22

① 人間は言葉の獲得によって、感じる動物から考える動物に進化していったが、ChatGPTに代表される生成AIを開発することで、今度は考えることから解放され新たな動物へと進化していかなければならない。

② 人間が決断を下す時は、感情や感性によって決断する場合と言葉や論理によって決断する場合とを巧妙に使い分けており、これをChatGPTのように、無理に言葉や論理だけで判断して、情報によって動く機械にならないようにしなければならない。

③ 人間は、過去の情報の組み合わせによって課題への解答を示すChatGPTとは異なり、自ら積極的に新たな経験を積み重ねながら、なにもないところから想像力を働かせて自前の回答を考えなければならない。

④ 人間はChatGPTのように感情を持たない機械ではなく、生物的な感性や他者への共感によって行動へと駆り立てられる存在であるから、ChatGPTのような生成AIとは縁を切り、考える存在として想像力を自在に働かせなければならない。

解答上の注意

〔マーク式の解答について〕

- 1 解答はすべて解答用紙の所定の欄へのマークによって行います。たとえば，

3

と表示のある問いに対して②と解答する場合は，次の〈例〉のように解答番号3の解答欄の②をマークします。

〈例〉

解答 番号	解 答 欄								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

〔記述式の解答について〕

- 1 一マス目から書き終わりまでの間に空欄がないように書きなさい。
- 2 一マスに1字ずつ楷書で，誤字・脱字がなく，判読できるように丁寧に書きなさい。句点（。），読点（，），括弧，アルファベット，その他の記号等もすべて1字として書きなさい。
- 3 文の最後には必ず句点を書きなさい。読点は必要に応じて書きなさい。
- 4 訂正は，プラスチック消しゴムで完全に消し，文字が判読できるように書き直しなさい。
- 5 解答は必ず解答用紙に書きなさい。解答用紙の枠外は採点の対象外となります。